2019 年 9 月 25 日

報道関係者各位

Press Release

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」採択

創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム

～学生も社会人も学び続け、 日本の未来を拓く～

実施組織「産学連携教育イノベーター育成コンソーシアム」

事業実施大学：東北大学、 熊本大学、 大阪府立大学、 立教大学

連携企業・団体：

〔企業〕（五十音順）株式会社アゴラ･ステーション、EY 新日本有限責任監査法人 国際公共チーム、株式会社 ASA、サンライトヒューマン TDMC 株式会社、株式会社七十七銀行、株式会社中九州クボタ、株式会社日本科学技術研修所、パーソルキャリア株式会社、パナソニック株式会社、PwC コンサルティング合同会社、株式会社福井製作所、株式会社富士通ラーニングメディア、株式会社プロアシスト、株式会社ベネッセ i キャリア、三菱電機株式会社、株式会社リクルートキャリア、株式会社りそな銀行

〔地方公共団体〕大阪府、宮城県、仙台市、豊島区

〔一般社団法人〕一般社団法人 経済同友会インターンシップ推進協会、一般社団法人 埼玉県経営者協会

事業１：産学連携教育イノベーター育成プログラム（実務家教員育成研修）

産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現、未来を拓く人材の各界への輩出のため、その中心的役割を担う実務家教員を育成する。

【人材像】学びと社会をつなぐ実践知・学術知往還及び**学習成果のエビデンス**に基づく**教育変革**を先導する**教育イノベーター**

【受講者】多様な業種・職種の社会人。受講資格は、次の両方を充たすものとする。

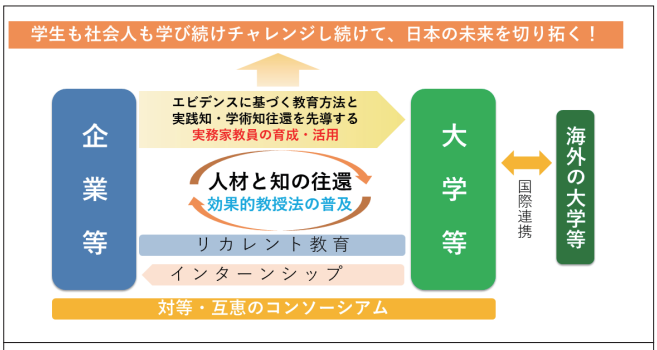
- 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者
- 原則として専門的技術的又は管理的な職務において５年以上の実務経験を有する者

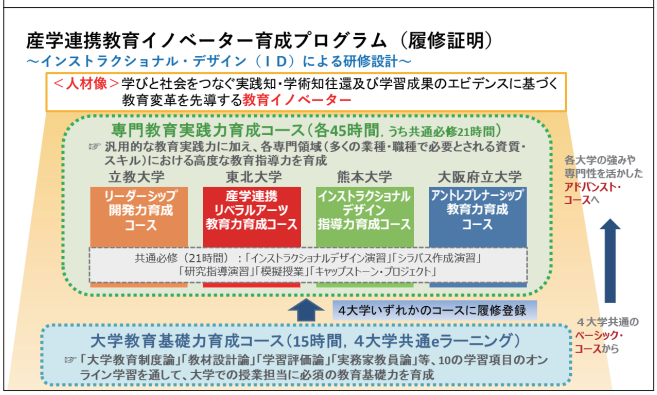
【研修内容】４大学共通オンライン研修（大学教育基礎力）・集合研修（教育実践力）＋各大学の強みを活かした専門教育力育成コース（オンライン研修＋集合研修）

〔総学修時間（自宅等での学修を含む）は 60 時間以上（履修証明プログラム）〕

【４コース】いずれも**汎用的な専門性（様々な業種・職種で必要とされる専門性）**を育成

- 産学連携リベラルアーツ教育力育成コース　（東北大学）
- インストラクショナルデザイン指導力育成コース　（熊本大学）
- アントレプレナーシップ教育力育成コース　（大阪府立大学）
- リーダーシップ開発力育成コース　（立教大学）

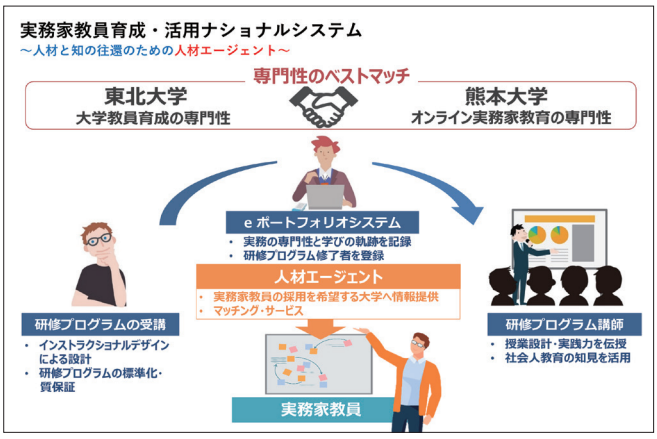




事業２：実務家教員育成・活用ナショナルシステム（人材エージェント等）

オールジャパンで産学共同人材育成を推進するため、文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」に採択された全て（４つ）の実務家教員育成研修プログラムの取りまとめを担うナショナルセンターとして、同事業全体のために次の業務を実施。

- **ポータルサイト**の開発・運用：事業全体の情報発信
- **人材エージェント**業務：全ての研修の修了者データベースを構築し、大学とマッチング
- **研修プログラムの質保証**：全研修プログラムの質保証のため、拠点間で標準化を推進等



【取組の志】

・**「日本の人材育成は危うい！」**との認識を産学が共有。

・**産学連携**により、日本の未来を拓く**「越境人材」**として創造と変革を先導する**実務家教員**を育成・活用。

・**産学循環型人材育成システム**の構築に取り組む。

現状の問題点

・**大学生は勉強しないという日本の常識は、世界の非常識**
・**世界で一番学ばないとされる日本の社会人**
・背景に**新卒一括採用など日本的雇用慣行**

教員（講師）が一方的に語り受講者は受身の講義形式は、高等教育・企業研修の共通問題

目指す将来像

・**学生も社会人も学び続ける社会**を実現し、日本の未来を拓く人材を輩出
・このため、**産学連携による実践的教育**
・**教育・雇用一体改革**に貢献！

教員・講師が話すことよりも学生・受講者が学ぶことに焦点を当て、**学習成果**を確保

課題解決の主役としての実務家教員

・**学生の大学教育への動機付け**を高め、**社会人をリカレント教育へ惹き付ける** など、大学において**学びと社会を繋ぐ**
・学習成果の**エビデンスに基づく効果的な教育方法**を産学両方において普及
・**産学間の人材と知の往還**を先導
・**「越境人材」**として、産から学への片道切符ではなく、産学間の越境を繰り返す人材、あるいは、産・産間や学・学間を含め越境する人材として、**日本の人材育成の変革**を主導

【取組の背景】

（日本の人材育成の危機的状況）

グローバル化や人口減少に伴い、国民一人ひとりの資質・能力の重要性が増す一方、日本の人材育成は、大きな課題を抱えたままです。**授業外学習時間の少なさ**に表れる、**大学生は勉強しないという日本の常識は、世界の非常識**と言わざるを得ません。また、社会人が大学院・大学等で学び直す**リカレント教育は、既に何十年も重要性が叫ばれ続けながら、依然として低調**で、日本の社会人は世界で一番学ばないとも言われます。これらの問題の背景として、**新卒一括採用や終身雇用など日本的雇用慣行**の在り方が指摘されてきました。

（教育・雇用一体改革への動き）

しかし、ようやく今、変革に向けて動き出しています。**中央教育審議会の「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」**（2018 年 11 月）は、雇用慣行の問題に触れつつ、産学共同による人材育成が大学教育改革の推進力の一つとなることへの期待感を示しました。また、経団連と大学による**「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」の共同提言**（2019 年 4 月）は、新卒一括採用に加えてジョブ型採用を含む多様な採用形態への秩序をもった移行、産学共同教育プログラムやリカレント教育の活性化などを謳いました。

（取組のめざす人材育成の姿）

本取組は、以上のような**教育・雇用一体改革に貢献**すべく、**産学連携による実践的かつ広く深い学び、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会**の実現、未来を拓く人材の各界への輩出を志しています。この志に基づき、**学生の大学教育への動機付け**を高め、**社会人をリカレント教育へ惹き付ける**など、大学において**学びと社会を繋ぐ**上で中心的役割を担う**実務家教員**を育成・活用するため、**多様な業種・職種**の社会人を対象に**汎用的な専門性**を獲得できる体系的研修を提供し、**研修修了者と大学のマッチング**を行います。

研修修了者には、**産学間の人材と知の往還**の先導、並びに、**学習成果のエビデンス**に基づく**効果的教授法**の産学両方における普及が期待されます。研修は**インストラクショナルデザイン（ID）**によって設計され、**教員・講師が話すことよりも学生・受講者が学ぶこと**に焦点を置き、学習成果の確保を図るとともに、教員・講師の学びと成長を促進します。

【取組の基盤】

特色ある研修コンテンツを可能にする**専門性**と**実績**

立教大学	東北大学	熊本大学	大阪府立大学
産学連携によるリーダーシップ教育 コア・カリキュラムとしてのビジネス・リーダーシップ・プログラム (BLP) 等	**高等教育リテラシー、教学マネジメント等** 教育関係共同利用拠点。大学教員準備研修、大学変革リーダー育成プログラム (履修証明、BP 認定)、FD セミナー動画配信等	**インストラクショナルデザイン (ID)、オンライン社会人教育** 日本初の e ラーニング専門家養成大学院 (社会人大学院)、教育関係共同利用拠点等	**IR による効果検証、イノベーション創出型研究者養成等** 産学連携科目、インターンシップ等を年約 500 人が受講

本事業について：

東北大学 大学教育支援センター HP をご覧ください。
www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD

連絡・問合せ：

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター
tel: 022-795-4471
email: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp